

平成26年度 事務事業評価シート

章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	I	特色ある農業・漁業の推進
目標		観光産業と連携した特色ある農業・漁業を推進する。

指標名	単位	基準値 H16	中間値 H21	実績値 H22	実績値 H23	実績値 H24	実績値 H25	実績値 H26	目標値 H27
指標① 肉用牛等飼養数	頭	1,683	2,625	2,447	2,454	2,567	2,564	—	2,256
指標② ほ場整備面積	ha	328.1	395.9	395.9	395.9	395.9	395.9	—	583
指標③ 登別漁港水揚量	t	9,972	15,745	12,285	13,611	10,666	13,870	—	15,000
指標④ 登別漁港係船岸壁充足率	%	30.0	30.0	30.0	30.0	36.0	36.0	—	47.0
指標⑤ 農村地区の水洗化率	%	4.5	17.6	17.9	33.1	33.1	33.1	—	34.0

施策コード	施策の基本的な方向	主要な施策	具体的な内容
1-①	1 高付加価値農水産業の展開	① 地場農水産物による加工研究開発の支援	・地場農水産物を利用した加工品の研究開発及び販売促進を支援します。
2-①	2 食の安全・安心の促進	① 新鮮でクリーンな農水産物供給の推進	・安全・安心な農産物を生産するクリーン農業の普及や高度衛生管理型漁港の整備を促進し、安全性が高く、品質の良い農水産物の供給を図ります。
2-②	2 食の安全・安心の促進	② 地産地消の推進	・地場農水産物に関する情報を市民や食品提供者等に発信し、地産食材の消費拡大を図ります。 ・地域の宿泊施設等での地場産品の利用促進に向けた取組を支援します。
3-①	3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進	① 新規就農者、担い手農業者への支援	・情報化や高度技術化する農業に対応できる人材を育成・確保するなど、新規就農者や担い手農業者への取組を支援します。 ・ゆとりある酪農・畜産経営の安定化に向け、酪農ヘルパー事業や市場への預託放牧などを促進し、労働軽減などを通じた省力化を進めます。
3-②	3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進	② 畜産生産基盤の整備	・飼料基盤や家畜飼養管理施設などの畜産生産基盤の整備を促進します。 ・農道や農地保全施設の整備を図ります。
3-③	3 ゆとりある酪農・畜産経営の促進	③ 家畜排せつ物の適正管理と有効利用	・畜産公害を防ぐため、家畜排せつ物を適正管理し、有機物資源としての有効活用を図ります。
4-①	4 都市生活者・他産業従事者との交流促進	① グリーンツーリズム（農村との交流を楽しむ余暇活動）の推進	・観光と連携させた農産物加工、農業体験に取組むなど、都市生活者との交流により農業への理解を深めるとともに、地域の活性化を図ります。
4-②	4 都市生活者・他産業従事者との交流促進	② マリンツーリズム（漁村との交流を楽しむ余暇活動）の推進	・観光と連携させたマリンレジャーや水産物販売のイベントを開催するなど、都市生活者との交流により水産業への理解を深めるとともに、地域の活性化を図ります。
5-①	5 時代に即した漁業生産の基盤づくり	① 資源管理型及び衛生管理型の漁業の推進	・漁業経営の安定と所得向上を図るため、資源の適正管理とつくり育てる漁業を推進します。 ・衛生管理対策の強化による水産物の高付加価値化を推進し、漁家所得の向上を図ります。
5-②	5 時代に即した漁業生産の基盤づくり	② 漁業経営の改善	・各種栽培事業、放流事業や漁船・漁具購入資金利子補給事業等に支援し、経営の安定と所得向上を図ります。
5-③	5 時代に即した漁業生産の基盤づくり	③ 漁港の整備促進	・鰹別漁港については、漂砂対策と港内静穏度の向上を図るため、施設整備を促進します。 ・登別漁港については、高度衛生管理型の対応を完備し、水産物の産地直売など都市交流型の水産業を目指した多目的な利用ができる漁港としての整備を促進します。

NO	施策	事業名【事務事業コード】	部名及びグループ名	開始年度	終了年度	事業区分	会計種別	Plan・Do											Check						Action																																																					
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業の場合は、施設名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、要綱等	指標名	単位	H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標	名称	H24決算	H25決算	H26予算		H27予算案	H28予算案	H29予算案	第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況	評価	評価の判断理由、特記事項など (妥当性、有効性、効率性、成果)	今後の事業の方向性【H27以降】																																														
1	1-①	札内高原館運営管理経費 32111002	観光経済部 農林水産G	H18	—	ソフト	一般会計	事業の目的 地場農産物を活用した体験学習を提供することにより、体験型の特色ある農業の創出を図ることを目的とする。	年度 H24	対象者等 （株）のほりべつ酪農館	事業の内容 運営管理を指定管理者に委託し、農畜産加工物に関する体験学習メニューを提供するほか、体育館等を札内地区のコミュニティの場として開放した。 【指定管理期間】 平成24年4月1日～平成27年3月31日	根拠法令、条例、要綱等 登別市札内高原館条例、登別市札内高原館条例施行規則、登別市札内高原館の管理に関する協定書	指標名 札内高原館利用実績	単位 人	H24実績 交流室 572 体育館 1941 体験学習 439	H25実績 交流室 300 体育館 2202 体験学習 247	H26目標 交流室 450 体育館 2200 体験学習 350	H27目標 交流室 450 体育館 2200 体験学習 400	H28目標 交流室 450 体育館 2200 体験学習 400	H29目標 交流室 450 体育館 2200 体験学習 100	名称 国庫支出金	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況	評価 維持	評価の判断理由、特記事項など (妥当性、有効性、効率性、成果) 事業の実施により、市民がコミュニティ施設を利用し交流が図られるとともに、体験学習では市民や観光客が農業への理解を深められ、地場農産物の宣伝と販売促進が図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。	今後の事業の方向性【H27以降】 体験学習やコミュニティ施設の活用促進に向け、引き続き指定管理者と連携し、札内高原館の運営に取り組んでいく。																																															
																																H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																									
																																																						H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
																																																																											合計	5,204	5,191	5,643
2	2-①	胆振西部乳牛検定組合補助金 32121003	観光経済部 農林水産G	H10	—	ソフト	一般会計	事業の目的 乳質改善に取組む団体の活動を支援することにより、乳質及び生産乳量の向上を図ることを目的とする。	年度 H24	対象者等 胆振西部乳牛検定組合	事業の内容 乳牛能力検定事業を実施する胆振西部乳牛検定組合に対して、運営費の一部を補助した。 ・市内酪農家検定実施戸数：6戸	根拠法令、条例、要綱等 登別市農林業等振興補助金交付要綱	指標名 1頭当たり生産乳量	単位 kg	H24実績 8,847	H25実績 8,397	H26目標 9,000	H27目標 9,000	H28目標 9,000	H29目標 9,000	名称 国庫支出金	H24決算	H25決算	H26予算	H27予算案	H28予算案	H29予算案	第2期基本計画第3次実施計画期間中(H24～H26)における事業内容の変更・改善等の状況	評価 維持	評価の判断理由、特記事項など (妥当性、有効性、効率性、成果) 生産者が乳牛検定成績を活用することにより、乳質の向上と生産乳量の高い優良牛が確保され、酪農経営における生産性の向上を図られていることから、今後も事業を継続することが相当である。	今後の事業の方向性【H27以降】 今後も乳質の向上と生産乳量の高い優良牛の確保を図っていく。																																															
																																H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																							
																																																								H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do														Check		Action												
								事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24~H26)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価 評価									
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、業 種名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算		H26 予算			H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案						
3	2-①	黒毛和種受 胎移植事業 補助金	観光 経済部	農林 水産G	H25	H27	ソフト	一般 会計	H24	-	-	-	受精卵移植頭数	頭			9	15	15							H24 以前	-	維持	黒毛和種繁殖牛に優良血統 受精卵を移植したことによ り、優良な繁殖牛の確保が 見込まれ、また、受精卵植 頭数の今後の増加も見込ま れることから、事業を継続 することが相当である。	優良な繁殖牛 の確保に努め、黒 毛和種の繁殖基盤 の向上を目指して いく。						
									H25	伊達市農業 協同組合	伊達市農業協同組合に対して、繁殖牛への 優良血統受精卵の移植に要する経費の一部を補 助した。	登別市農林業等振 興補助金交付要綱																				H25	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はあり ません。			
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般 財源			152	300	300								H26	上記のとおり	
									合計														0	152	300	300	0				0					
4	2-①	乳牛後続 産牛促進事 業補助金	観光 経済部	農林 水産G	H25	H27	ソフト	一般 会計	H24	-	-	-	授精頭数	頭			35	50	50							H24 以前	-	維持	雌雄判別精液の利用によ り、非常に高い確率で雌牛が 生まれており、安定的な搾乳 牛の後続産牛の確保が見込ま れることから、今後も事業 を継続することが相当であ る。	今後も搾乳牛の 後続産牛の確保に 努め、生産量の 向上と酪農家の 経営の安定化を 図っていく。						
									H25	伊達市農業 協同組合	伊達市農業協同組合に対して、雌雄判別精液 に要する経費の一部を補助した。	登別市農林業等振 興補助金交付要綱																					H25	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はあり ません。		
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	-	-	一般 財源			70	100	100								H26	授精注入器の利用による受胎 率向上に取り組む	
									合計														0	70	100	100	0				0					
5	2-②	地域資源を 活用した多 機能型店舗 支援事業 (緊急雇用 創出推進事 業)	観光 経済部	商工 労政G	H25	H25	ソフト	一般 会計	H24	-	-	-	雇用者数	人			4									H24 以前	-	終了	緊急雇用創出推進事業によ る委託は終了したが、事業主 体により、雇用の場は継続さ れ、また、地域コミュニティ の場を提供することで観光客 や地域住民の集客を促し、地 域経済の活性化が図られた。	緊急雇用創出推 進事業により起業 を支援した民間事 業者に対し、各種 支援メニューに 関する情報提供など の側面的な支援を 継続していく。						
									H25	登別駅前 商店街	登別駅前地区に登別ブランド推奨品を始めと する特産品の販売、地場農産品等を調理した 軽食の提供、地元ボランティアと連携した全 体的な観光案内などを行う多機能型店舗を開 設し、地域の賑わい創出に向け、イベントを 開催するなど地域コミュニティの場を提供す ることによって観光客や地域住民の集客を 促し、地域経済の活性化を図った。																						H25	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はあり ません。		
									H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	一般 財源														H26	-
									合計														0	9,699	0	0	0				0	0				
6	3-①	中山間地域 等直接支払 交付金	観光 経済部	農林 水産G	H12	-	ソフト	一般 会計	H24	集落	中山間地域等直接支払交付金事業を実施し、中山間地域 の農業者で構成する集落に対して交付金を交付した。 【事業実績】 ・牧草の維持管理活動、雨水による草地流亡補修、家畜 伝染病蔓延防止対策 ・交付対象：集落1箇所 ・対象農用地：登別市牧場：45.12ha ・補助率：国費50%、道費：25%、市負担：25%	北海道中山間地域 等直接支払交付金 実施要領	放牧家畜防疫接種	頭	94	98	95	95	95	95									H24 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はあり ません。	維持	事業の実施により、中山間 地域における耕作放棄地の 発生防止や農地の多目的機能 の確保が図られており、今後 も事業を継続することが相当 である。	集落協定に基づく 急傾斜農地保全 のための活動に 対して、引き続き 国や道とともに支 援していく。			
									H25	上記のと おり	上記のとおり	上記のとおり																						H25	上記のとおり	
									H26	上記のと おり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	雨水による通路等 のガレ補修	箇所	0	1	1	1	1	1	一般 財源			443	443	443	443	443	443					H26	上記のとおり	
									合計														1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770								
7	3-①	有害鳥獣駆 除経費	観光 経済部	農林 水産G	H11	-	ソフト	一般 会計	H24	一般社団法 人北海道 猟友会室蘭 支部	市民からの被害及び苦情相談に基づき、銃器やおなご り有害鳥獣の駆除を行った。 ・駆除鳥獣：エゾシカ、アライグマ、キツネ、カラス、タ ヌキ ・事業期間：通年		駆除頭(羽)数	頭(羽)	エゾシカ 127 アライグマ 138 キツネ7 カラス 102 タヌキ30 合計404	エゾシカ 151 アライグマ 71 キツネ12 カラス 105 タヌキ41 合計380	エゾシカ 145 アライグマ 140 キツネ15 カラス 110 タヌキ50 合計460	エゾシカ 155 アライグマ 140 キツネ15 カラス 110 タヌキ50 合計470	エゾシカ 155 アライグマ 140 キツネ15 カラス 110 タヌキ50 合計470	エゾシカ 155 アライグマ 140 キツネ15 カラス 110 タヌキ50 合計470												H24 以前	事業実施中に不断の事務改善 を検討・実施しております が、事業内容に変更はあり ません。	維持	農林業被害や生活環境被害 を最小限に食い止めるには、 被害相談に迅速に対応し、有 害鳥獣を駆除する必要があり 、今後も事業を継続するこ とが相当である。	市民からの被害 相談に対応するほ か、有害鳥獣の 駆除数を増やし、個 体数の適正化を図 り、引き続き 被害の防止に努め ていく。
									H25	上記のと おり	上記のとおり																					H25	上記のとおり			
									H26	上記のと おり	上記のとおり実施中										一般 財源			1,630	2,457	3,298	3,298	3,298	3,298		H26	上記のとおり				
									合計															1,858	2,777	3,748	3,748	3,748	3,748							

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do																	Check		Action							
								事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】						第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24～H26)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価 評価		評価の判断理由、特記事項 など (妥当性、有効性、効率性、成 果)	今後の事業の方向 性 【H27以降】					
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、業 種名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算	H26 予算						H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案		
18	5-①	漁業専門員 設置補助金	観光 経済部	農林 水産G	H17	H26	ソフト	一般 会計	H24	いぶり中央 漁業協同組 合	いぶり中央漁業協同組合が行う漁業専門員の配置事業に 関する経費の一部を補助した。 【補助事業の内容】 ・漁業専門員 1名(白老町夜場に配置) ・専門員の活動 ホッキ等の資源管理、ホッキ漁場の環境改善、ウニ の資源管理と増殖、マツカワ種魚の放流、エゾアワビ の試験放流等	登別市水産業振興 対策事業補助規則	-	-	-	-	-	-	-	国庫 支出金		H24 以前	終了	事業開始当初から10年を目 途に漁業専門員を採用するこ ととし、これまでの活動で一 定の成果が得られたことから、 当初の予定通り平成26年度を もって事業を終了することと した。	事業開始当初から10年を目 途に漁業専門員を採用するこ ととし、これまでの活動で一 定の成果が得られたことか ら、当初の予定通り平成26年 度をもって事業を終了する。	平成26年度で事業 終了								
									H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	地方債		H25													
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	一般 財源	1,200	1,000	1,000					0	0	0	H26				
									合計											1,200	1,000	1,000					0	0	0					
19	5-①	沿岸漁業構 造改善事業 補助金	観光 経済部	農林 水産G	H18	H27	ソフト	一般 会計	H24	いぶり中央 漁業協同組 合	平成18年度にいぶり中央漁業協同組合が実施 した衛生管理型荷捌施設(製氷・貯氷・冷蔵施 設併設)の建設等に要する経費の一部を補助し た。 ※10年間の債務負担行為を設定することにより 年割で補助	登別市沿岸漁業構 造改善対策事業補 助規則	-	-	-	-	-	-	-	国庫 支出金		H24 以前	維持	この補助金は、「登別市沿 岸漁業構造改善対策事業(荷 捌併設製氷・貯氷・冷蔵施 設建設及び水道管敷設工事) 」に基づき、10年間の補助を行うも のであり、当該設備は、沿岸 漁業の近代化に資するもので あることから、平成27年度ま で事業を継続する。	債務負担行為に 基づき、平成27年 度まで継続して補 助していく。	平成27年度まで事業を継続す る。								
									H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	地方債		H25													
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	一般 財源	6,995	6,995	6,995					6,995	0	0	H26				
									合計											6,995	6,995	6,995					6,995	0	0					
20	5-①	エゾアワビ 種苗放流事 業補助金	観光 経済部	農林 水産G	H23	H27	ソフト	一般 会計	H24	いぶり中央 漁業協同組 合	試験的にエゾアワビの人工種苗を当市海域に放流 し、生息環境や放流後の成長等を調査し、増殖の可 能性について調査を行ういぶり中央漁業協同組合に 対し、事業費の一部を補助した。 【事業実績】 北海道栽培漁業振興公社熊石事業所で生産された エゾアワビの人工種苗1万個に金属タグを取り付け 当市海域の適地に放流した。	登別市水産業振興 対策事業補助規則	放流後の追跡調査 回数	回	1	1	1	1	-	-	-	国庫 支出金		H24 以前	維持	平成26年度からエゾアワビ の漁獲が始まるが、採算性等 の判断には今後数年間の漁獲 量及び漁獲高の推移を見る必 要があるため、それまでの間 は種苗の放流を継続しなければ ならないため、平成27年度 (平成26年度と平成27年度の漁獲 量・漁獲高の推移から判断)まで支 援を継続することとした。	追跡調査では残 存個数の把握は困 難であり、実際に 漁獲してみなければ 採算性の判断が可 能となる。平成27年 度まで事業を継続 していく。	平成27年度まで事業を継続す る。						
									H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	地方債		H25													
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	一般 財源	348	315	324	324	0					0	H26				
									合計											348	315	324	324	0					0					
21	5-①	ホッキ空具 処分事業補 助金	観光 経済部	農林 水産G	H25	H27	ソフト	一般 会計	H24	-	-	-	ホッキ空具処分量	トン	-	49	50	50	-	-	-	国庫 支出金		H24 以前	維持	ホッキ空具の漁場に存在する ホッキ空具を駆除すること により、漁場が改良され、稚魚 が発生しやすい環境を整える ことと後継資源の確保及び資 源管理型漁業の推進に繋がる ことから、今後も事業を継続 することが相当である。	当市海域には多 くのホッキ空具が 存在し、単年度で 現存するホッキ空 具を全て駆除する ことは難しいため、平成27 年度まで事業を継続 していく。	平成27年度まで事業を継続す る。						
									H25	いぶり中央 漁業協同組 合	いぶり中央漁業協同組合に対して、ホッキ貝 の漁場に高密度で分布するホッキ空具(死殻) の処分に関する経費の一部を補助した。	登別市水産業振興 対策事業補助規則	-	-	-	-	-	-	地方債		H25													
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施中	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	一般 財源	46	233	233	0	0					H26					
									合計											46	233	233	0	0										
22	5-②	登別救難所 運営事業補 助金	観光 経済部	農林 水産G	S46	-	ソフト	一般 会計	H24	登別救難所	海難事故の防止啓発や海難事故発生時の救助 活動を行う登別救難所に対して、運営に要する 経費の一部を補助した。 【主な事業内容】 各種会議、三救難所合同夏季演習、定期訓練、 海難防止パレード、海難事故時の救助活動等	登別市水産業振興 対策事業補助規則	夏季演習、定期訓 練等開催回数	回	2	2	2	2	2	2	国庫 支出金		H24 以前	維持	海難事故における救助活動 は、従来の漁船の海難事故に 加え、要請に応じて市民等 によるレジャー型海難事故に も協力している。海上での救 助活動は一刻を争うものであ り、登別救難所は大変重要な 役割を担っていることから、 今後も事業を継続することが 相当である。	近年、当市海域 では、漁船による 海難事故だけでなく、レジャ ー型海難事故も多 数発生している。 訓練による技術 の向上を図るた め、引き続き登別 救難所の活動を支 援していく。	平成27年度まで事業を継続す る。							
									H25	上記のとおり	上記のとおり	上記のとおり	-	-	-	-	-	-	地方債		H25													
									H26	上記のとおり	上記のとおり実施予定	上記のとおり	漁船海難防止パ レード開催回数	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1					250	250	250	250	250	250	H26
									合計											250	250	250	250					250	250					

NO	施策	事業名 【事務事業 コード】	部名及びグ ループ名	開始 年度	終了 年度	事業 区分	会計 種別	Plan・Do														Check		Action										
								事業概要				事業の成果、目標							各年度の決算額、当該年度の予算額、今後の予算案【単位：千円】							第2期基本計画第3次実施計画期間 中(H24～H26)における事業内容の 変更・改善等の状況	評価 評価							
								事業の目的	年度	対象者等 ※ハード事業 の場合は、業 種名を記載	事業の内容	根拠法令、条例、 要綱等	指標名	単位	H24 実績	H25 実績	H26 目標	H27 目標	H28 目標	H29 目標	名称	H24 決算	H25 決算		H26 予算			H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案				
23	5-②	漁業近代化 資金利子補 給金	観光 経済部	農林 水産G	S55	—	ソフト	一般会計	漁船の購入等に 係る漁業者の経済 的負担を軽減する ことにより、漁業 資本整備の近代化 を促進することを 目的とする。	H24	いぶり中央 漁業協同組 合	漁業近代化資金 融資法に基づく 漁業者等の漁 業資本整備資金 を融資した金融 機関に対して、 借入金利子の1% を補給した。 【事業実績】 利子補給額 609,287円 (内訳) 上期利子補給額 309,635円 下期利子補給額 299,652円	漁業近代化資金 融資法、登別市漁 業近代化資金利 子補給条例、登 別市漁業近代化 資金利子補給条 例施行規則	利子軽減額(利 子補給金額)	千円	610	494	500	500	500	500	国庫 支出金								H24 以前	事業実施中に不 断の事務改善を 検討・実施して おりますが、事 業内容に変更は ありません。	維持	漁業近代化資金 融資法に基づ く漁業者等の 漁業資本整備 資金を融資し た金融機関に 対して、市が利 子補給すること により、借入者 の負担を軽減 し、漁業経営 の近代化の促 進が図られるこ とから、今後も 事業を継続する ことが相当であ る。	引き続き、い ぶり中央漁業 協同組合を通 じた本融資制 度の周知に努 め、更なる漁 業資本整備の 近代化の促進 を図っていく。
		32152003							H25	上記のと おり	上記のと おり 【事業実績】 利子補給額 493,980円 (内訳) 上期利子補給額 250,760円 下期利子補給額 243,220円	上記のと おり															H25	上記のと おり						
									H26	上記のと おり	上記のと おり実施予 定	上記のと おり	利子補給を受 けた人数	人	10	11	20	20	20	20	一般 財源								H26	上記のと おり				
															合計	610	494	555	555	555	555													
24	5-③	登別漁港 維持管理事 業補助金	観光 経済部	農林 水産G	S44	—	ソフト	一般会計	漁港の適切な 維持管理を行う ことにより、快 適で安全な漁 業活動の場や 地域住民の交 流の場を確保 することを目的 とする。	H24	いぶり中央 漁業協同組 合	いぶり中央漁 業協同組合に 対して、登別 漁港の軽易な 維持管理に要 する費用と港 内照明灯電気 料の一部を補 助した。 【事業実績】 照明灯電気代 、清掃活動、 除雪等	登別市水産業 振興対策事業 補助規則	漁港愛護活動 回数(漁港清 掃・花壇整備 等)	回	6	6	6	6	6	6	国庫 支出金								H24 以前	事業実施中に 不測の事務改 善を検討・実 施してござい ますが、事業 内容に変更は ありません。	維持	漁港は水産物 の陸揚げ・流 通の拠点であ るとともに、海 洋性レクリエ ーションの場 として、漁業 者をはじめ、 地域住民等が 利用する地域 社会の核とし ての役割を担 っている。漁 港の維持管理 及び環境整備 の実施により 、快適で安全 な漁業活動の 場や地域住民 の交流の場、 憩いの場を確 保することに 繋がることか ら、今後も事 業を継続する ことが相当で ある。	引き続き、漁 港の維持管理 状況の把握に 努め、関係機 関と連絡調整 を行っていく。
									H25	上記のと おり	上記のと おり	上記のと おり																	H25	上記のと おり				
									H26	上記のと おり	上記のと おり実施予 定	上記のと おり	漁港を利用し た都市交流回 数(朝市・夕市 ・漁港まつり)	回	4	4	4	4	4	4	一般 財源								H26	上記のと おり				
															合計	277	268	276	276	276	276													
25	5-③	登別漁港 維持管理事 業補助金	観光 経済部	農林 水産G	H11	—	ソフト	一般会計	漁港の適切な 維持管理を行う ことにより、快 適で安全な漁 業活動の場や 地域住民の交 流の場を確保 することを目的 とする。	H24	いぶり中央 漁業協同組 合	いぶり中央漁 業協同組合に 対して、登別 漁港内の照明 灯電気料の一 部を補助した 。 【事業実績】 照明灯電気代	登別市水産業 振興対策事業 補助規則	年間の漁港 愛護活動回数 (漁港清掃)	回	2	2	2	2	2	2	国庫 支出金								H24 以前	事業実施中に 不測の事務改 善を検討・実 施してござい ますが、事業 内容に変更は ありません。	維持	漁港は水産物 の陸揚げ・流 通の拠点であ るとともに、海 洋性レクリエ ーションの場 として、漁業 者をはじめ、 地域住民等が 利用する地域 社会の核とし ての役割を担 っている。漁 港の維持管理 及び環境整備 の実施により 、快適で安全 な漁業活動の 場や地域住民 の交流の場、 憩いの場を確 保することに 繋がることか ら、今後も事 業を継続する ことが相当で ある。	引き続き、漁 港の維持管理 状況の把握に 努め、関係機 関と連絡調整 を行っていく。
									H25	上記のと おり	上記のと おり	上記のと おり																	H25	上記のと おり				
									H26	上記のと おり	上記のと おり実施予 定	上記のと おり	漁業者以外の ふれあいの場 としての漁港 利用者数(釣 り人など)	人	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	一般 財源								H26	上記のと おり				
															合計	102	101	103	103	103	103													

全会計 合計	国庫支出金	885	885	885	885	885	885
	道支出金	1,969	12,458	2,896	2,144	1,374	1,374
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,955	4,170	3,925	3,905	2,954	2,954
	一般財源	18,500	18,702	20,818	19,847	11,874	11,516
	合計	24,309	36,215	28,524	26,781	17,087	16,729
一般会計 合計	国庫支出金	885	885	885	885	885	885
	道支出金	1,969	12,458	2,896	2,144	1,374	1,374
	地方債	0	0	0	0	0	0
	その他	2,955	4,170	3,925	3,905	2,954	2,954
	一般財源	18,500	18,702	20,818	19,847	11,874	11,516
	合計	24,309	36,215	28,524	26,781	17,087	16,729
区分【再掲】	H24 決算	H25 決算	H26 予算	H27 予算案	H28 予算案	H29 予算案	